

【事業の分類】

関連するSDGsの目標



基本目標	重点課題プロジェクト		施策コード
	“糸島サイエンス・ヴィレッジ”実現化プロジェクト		840
政策	その他の特色		コストの方向性
	市長公約		コスト維持
施策	事業種	継・新	公共施設等総合管理計画
	ソフト	継続	

【事業の内容】

事業名	糸島サイエンス・ヴィレッジ実現化事業（重プロ）			担当部課	経済振興部	学研都市づくり課	
事業目的	さまざまな分野の企業・研究者や学校などが集積し、イノベーションや新産業が生まれ、地域と大学の学生・教職員などが活発に交流する真の学術研究都市の構築。			事業主体	(一社) SVI推進協議会、市		
				実施方法	その他		
事業内容	○設立した一般社団法人の中で、大学の知的資源などを実用化し、新産業の創出や社会課題などの解決につながる検討を行う。 ○都市計画法による地区計画などを進め、大学に関連した研究所や企業、学校などの誘致を進めるとともに、起業支援制度などにより大学発のベンチャー企業の育成を図り、サイエンス・ヴィレッジの整備を進める。 ○一社で取り組むローカル5Gの実証場所として、旧清掃センターを管理する。			進捗状況・現状	R3.10 一般社団法人SVI推進協議会設立。法人内で協議した内容・方向性を町内関係部署と共有を図り、誘致方法の整理・調整を進めている。		
事業期間	令和3年度～令和7年度			会計種類	一般会計		
総事業費	2,202	千円	(うち市予算化分) 2,202 千円	予算科目	款	項	目
昨年度の実施計画に計上した総事業費	1,662	千円	1,662 千円		2	1	7

【担当課による評価】

◆活動指標

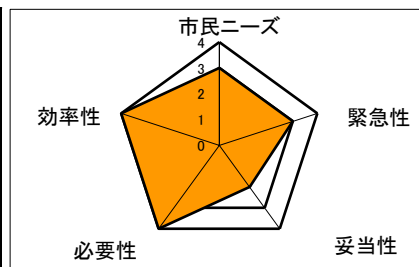
指標	現状値	当該年度目標値	最終目標値
サイエンス・ヴィレッジへの参入企業・研究所等数(社)	0	0	2

◆成果指標

指標	基準値 (R1)	当該年度目標値	目標値 (R7)
サイエンス・ヴィレッジへの参入企業・研究所等数	0社	0社	2社

◆事業の必要性など

事業の必要性	①非常に高い。必ず行うべきである。
行政関与の妥当性	③民間でも可能だが、行政が行う方が効率的である。
事業の効率性(費用対効果)	①わずかな費用で、大きな効果が期待できる。
緊急性	②今行わなければ、近い将来必ず市民生活に支障が出る。
市民ニーズ	②やや高い



【事業費】

糸島サイエンス・ヴィレッジ実現化事業(重プロ)

※二段書きのうち()は市の予算を通らない事業費を表す。

(単位:千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	734	320	320	1,374	
	一般財源(a)		414	414	828	
事業費(A)		734	734	734	2,202	
主な事業費内訳		負担金、旅費、光熱水費	負担金、旅費、光熱水費	負担金、旅費、光熱水費		
従事職員数(人)		1	1	1	平均人件費	8,700
人件費(B)		8,700	8,700	8,700	人件費割合(%)	92.2
総コスト(A+B)		9,434	9,434	9,434	総コスト計	28,302

実質地方負担	交付税措置額				-	
	一般財源充当額(b)					
	(a+b)					

財源の種類	特定財源の名称 (使途が定められた財源)	根拠法令等	補助率等 (地方債は交付税措置率)
国庫支出金			
県支出金			
地方債			(充当率 %)
その他	ふるさと応援基金繰入金 施設電気使用料等	糸島市ふるさと応援寄付条例	

年 度	積算基礎	合計
令和4年度	SVI協議会会費:100千円 旧清掃センター管理:電気代324千円、建物保険料3千円、浄化槽保守97千円 旅費:70千円×1人×3回=210千円	734 千円
令和5年度	SVI協議会会費:100千円 旧清掃センター管理:電気代324千円、建物保険料3千円、浄化槽保守97千円 旅費:70千円×1人×3回=210千円	734 千円
令和6年度	SVI協議会会費:100千円 旧清掃センター管理:電気代324千円、建物保険料3千円、浄化槽保守97千円 旅費:70千円×1人×3回=210千円	734 千円

担当部長による 総合評価	九州大学学術研究都市推進協議会(本市、九州大学、福岡県、福岡市、九経連等)で策定した九州大学学術研究都市構想に掲げる分散型地域核”ほたる”の構築(=地区計画)は、九州大学の知的資源等を活用した本市の学術研究都市づくりに必要である。 一般社団法人SVI推進協議会の中で議論しながら、行政だけではできない新しいまちづくりを推進することは重要である。
-----------------	---